



徳成寺 寺ともかわら版 第160号 2020年4月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

この度新型コロナウイルスの影響で、「健康講座」と「寺とも」を延期致しました。特に「寺ともサービス」は、2007年1月から13年と3か月毎月続いて来ただけに、一抹のさみしさを感じます。

とは言っても、その分余裕ができた時間を有効活用しているかとなると、

甚だ怪しいものです。中国の古い格言に「小人閑居して、不善をなす」という言葉

があります。ヒマを持て余すとつまらない人間は、ろくなことをしない

という意味です。なかなか耳の痛い言葉です。今まで忙しい忙しいと

言いつつ、暇つぶしに躍起になっていたのかも知れません。

この時機を限りある貴重な時間を生かすことを考えるチャンスにして参りましょう。

発行責任者
住職
大山健児
坊守
大山ひよみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、長男です。

お彼岸参りでお世話になったご門徒様、ありがとうございました。

さて、1月のかわら版でお知らせいたしましたDJイベント「徳成寺フェス」ですが、昨今のコロナウィルス感染症の終息の目処が立っていないため、延期となりました。楽しみにして下さった方、申し訳ありません。感染者が比較的少ない香川県においても、不要不急を合言葉に次々と音楽イベントの自粛が行われており、どうにもならない現状に対するやるせなさ、無力さをひしひしと感じております。いつかこの災害が収まった時に、晴れやかな気持ちで、大きい音で音楽を聞く喜びを分かち合いたいと思っておりますので、手洗いうがいをはじめ感染予防に努め、共に逆境を乗り越えていきましょう。よろしくおねがいします。写真は2年前に友人がかっこよく撮ってくれたDJしている時の様子です。洋服を着ると誰かわからなくなると言われるのは、お衣が板についてきたと言うことで了解しています(笑)

